

Update2 & 3 & 4 for Mastercam 2023

メンテナンス日付について

Update 4 のインストール

Update 4 の修正項目

Mastercam / Mastercam for SOLIDWORKS

Mastercam 固有の修正項目

Mastercam for SOLIDWORKS 固有の修正項目

Update 3 の修正項目

Mastercam / Mastercam for SOLIDWORKS

Mastercam 固有の修正項目

Mastercam for SOLIDWORKS 固有の修正項目

Update 2 の修正項目

Mastercam / Mastercam for SOLIDWORKS

Mastercam 固有の修正項目

Mastercam for SOLIDWORKS 固有の修正項目

メンテナンス日付について

Mastercam 2023 Update2&3 に必要なメンテナンス日付は 2022/5/31 です。

Mastercam 2023 Update4 に必要なメンテナンス日付は 2022/12/31 です。

Update 4 のインストール

※Mastercam 2023 Update1 (初期リリースバージョン)/ Update2/Update3/Update4 の順番でインストールしてください。

お使いの製品名のファイルをインストールしてください。

Mastercam 2023 の場合

mastercam2023-update2-patch.exe

mastercam2023-update3-patch.exe

mastercam2023-update4-patch.exe

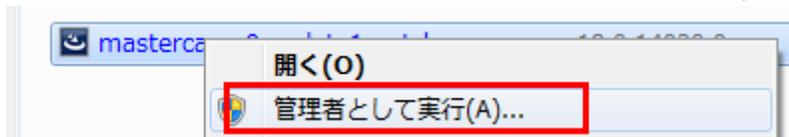
Mastercam 2023 for SOLIDWORKS の場合

mastercam2023fsw-update2-patch.exe

mastercam2023fsw-update3-patch.exe

mastercam2023fsw-update4-patch.exe

右クリックで表示されるメニューから「**管理者として実行**」を選択してインストールを開始し、画面の指示に従ってインストールしてください。



バージョンの確認：

Mastercam 2023 の場合 「ファイル/ヘルプ」→右側の製品情報の「Mastercam について」
Mastercam 2023 for SOLIDWORKS の場合 「ヘルプ/Mastercam 2023/Mastercam 2023 for SOLIDWORKS について」

表示されるバージョン：

Mastercam 2023 の場合 25.0.15915.0.

Mastercam 2023 for SOLIDWORKS の場合 25.0.15915.10.



Update 4 の修正項目

Mastercam / Mastercam for SOLIDWORKS

- ジョー作成中にチェーンを再選択できない
- 負のオフセットを使用すると軸オフセットが正常に動作しない
- 円形のセグメント工具を使用すると不正なプロファイルが使用された接触点が正確に計算されない
- Helix Bore オペレーションで 2 番目の穴で深さに直接移動する
- 手動タブ、輪郭開始点位置が不正になることがある
- ユニファイドパス再生成時に「Mirror plane normal vector length must be greater than 0.」エラーが出ることもある
- ポスト処理時にパーツファイルと同じフォルダにあるポストプロセッサが使用されない
- マシングループ設定で、「マスターモデル」、「ワーク設定」の材質を変更できない
- Mastercam シミュレーターでプレゼンテーションファイルを保存できない
- ソリッドからジオメトリを選択すると Lathe 溝切りオペレーションが生成されない
- GPU 処理が有効になっていると刃先補正の表示が不正になる

Mastercam 固有の修正項目

- SOLIDWORKS でラップされたジオメトリが正しくインポートされない
- ソリッドインポート時にソーイングを使用するとフェース色が維持されない
- 以前のバージョンで作成した Lathe オペレーションを再生成するとオペレーションからチェーンが削除され、再生成が必要になることがある
- いくつか CAD ファイルをインポートすると 3D アノテーションのサイズが不正になる
- ソリッドグループのあるファイルを併合すると、余分なグループが生成される
- SOLIDWORKS で保存された STEP ファイルをインポートすると MBD ファイルが不正になる

- Mastercam for SOLIDWORKS のデータの SLFPRT ファイルをインポートするとデフォルトマシンが読み込まれない
- CATPART 保存時に閉じたアントリムサーフェスがエクスポートされない
- STEP ファイル保存時にクラッシュする
- スケールされていると、複数ボディのある SpaceClaim ファイルが正常にインポートされない
- SLDPRT に可視平面フィーチャーが含まれていると平面がサーフェスとして読み込まれる
- SOLIDWORKS 2023/Creo 9/SolidEdge 2023/NX2206/Catia 3D Experience R2023x サポート
- インポート時に 3D アノテーションのジオメトリが穴作成オペレーションを作成している場合に不正になる
- 複数のソリッド要素を含むパーツファイル操作時にソリッドの関連性が破損する（Parasolid エラーが発生する）ことがある
- 重複削除の処理が遅い
- 変形移動時に中心点の選択ができない
- 5axmsurfNet.dll で std::vector 関数操作サポートの追加
- ネスティング API 経由でカスタムシート原点の指定サポートの追加
- DWG からの製図要素のインポートが不正になることがある
- ソリッドに 200 パーティションがあると Parasolid(R) interface Error PK22 が発生する

Mastercam for SOLIDWORKS 固有の修正項目

- Mastercam for SOLIDWORKS で部分チェーン選択の機能に一貫性がない
- Mastercam for SOLIDWORKS でオペレーションをインポートするコンフィギュレーションを選択できなくなる
- Mastercam for SOLIDWORKS でリンクした平面を編集できない
- Mastercam for SOLIDWORKS で多軸パスのいくつかでチェーンが消えてしまう
- Mastercam for SOLIDWORKS で平面の表示設定が効かない
- Mastercam for SOLIDWORKS でユニファイルパスの境界ジオメトリ選択が消えてしまう
- Mastercam for SOLIFWORKS でジオメトリ選択で Z 深さを設定すると SOLIDWORKS がロックする
- Mastercam for SOLIDWORKS で SOLIDWORKS のフィーチャーツリーかららせんを選択すると輪郭オペレーションが不正になる

Update 3 の修正項目

Mastercam / Mastercam for SOLIDWORKS

- 選択したホルダがオペレーションで使われないことがある
- クラシック再プロットで軸の代用を使った回転軸制御が正しく表示されない
- Lathe Entry 使用中他のプロダクトのポスト処理ができない

- 点から点へのソートが効かない
- マシングループで 260 字以上のコメントが削除される
- (古いパーツファイル) 移行後クリアランスブレンドスプラインの送り速度オーバーライドが古いパーツファイルで不正に有効になる
- Helix Bore で軸の代替えを使用すると不正になる
- Mastercam 2022 の工具ライブラリが 2023 に移行されない
- Moduleworks のオペレーションから加工指示を作成するとクラッシュすることがある
- すべてのアセンブリとオペレーションを更新オプションを使用すると、アセンブリが不正に適用される。(ナンバリング関連)

Mastercam 固有の修正項目

- Creo9.0 ファイルサポート
- 平面へ移動使用時に移動先の平面定義でパーツを選択できない
- Lathe Entry 使用中他のプロダクトのポスト処理ができない
- MD/CD/PST 名前変更でフィルタタイプが不正なことがある
- MD/CD/PST 名前変更で不要なエラーが表示されることがある
- B 軸選択オペレーションで Mastercam がクラッシュすることがある
- ソリッドの部分チェーンを反転すると、チェーンが不正に閉チェーンになる
- NET-Hook API が不正なプロダクトバージョンを返す
- 曲線に沿ってスライス使用中に表示される平面のサイズが正しくない
- MD/CD/PST 名前変更で不要なエラーが表示されることがある
- Inventor 2023 ファイルサポート
- UG NX2019/NX 2027 ファイルサポート
- 解析機能を終了するために[Esc]を押すと Mastercam がクラッシュする
- ブーリアンの「削除」で分離されたソリッドが別のソリッドにならない
- パーツファイル併合後クラッシュすることがある
- 以前のバージョンに比べてオペレーションパラメタが開くのが遅い
- 平面原点をオートカーソル位置に移動すると失敗することがある
- 単純な Mill-Turn マシン読み込み中に Code Expert がタイムアウトする

Mastercam for SOLIDWORKS 固有の修正項目

- ありません

Update 2 の修正項目

Mastercam / Mastercam for SOLIDWORKS

- 追い込み荒取りチェックボックスを有効にしてダイアログを閉じ、再度パラメタを開くと追い込み荒取りサブメニューページが表示されません。
- スロットミル工具を使用したツールパスを元のオペレーションとするワークモデルオペレーションで Mill 刃長のみオプションを使用しない場合に生成できません。
- 2D ダイナミック Mill/最適荒取りでステップオーバー距離を 1 より小さくできません。

- 3D High Speed 平行ツールパスで工具検査が出力されません。
- 3D High Speed 平行ツールパスで英語以外の環境で「レポート計算エラー」が出ます
- 輪郭 5 軸ツールパスが工具軸制御線に追従しません。
- 輪郭 5 軸ツールパスで補正サーフェスではなく、工具軸制御サーフェス上にパスが作成されます。
- アドバンスドリル使用時に、主軸速度が工具に割り当てられた主軸速度と一致する場合に出力されません。
- ユニファイドオペレーションをコピーすると切削パターン要素が維持されません。
- ツールパスマネージャで同一の多軸ツールパス名が表示されません。
- シミュレーション後にアドインを実行すると Mastercam がクラッシュします
- 切削送り速度制御ページで、有効でないフィールドがアクティブあるいはハイライト表示されます
- mcam-content ファイル展開時に不要なエラーが表示されます
- 期限付きライセンスが時々期限切れになることがあります
- 三角メッシュ、ポケット加工の切削送り速度ページのバグを修正しました
- ユニファイドツールパスでファイル保存後に切削パターンの設定が維持されません
- ユニファイドツールパスでオペレーションをコピーすると切削パターンが維持されません。
- マシングループ設定で、マシンあるいはシミュレーションタブから移動してもマシンが表示されません
- Verify での円弧の表示方向が不正になります

Mastercam 固有の修正項目

- マシングループ設定で図形要素がアンブランクになり、アクセスできないレイヤーに残されます
- Zip2Go で Mill-Turn マシンファイルが追加されません。
- 平面の原点を円弧の中心に移動すると不正な位置になります

Mastercam for SOLIDWORKS 固有の修正項目

- SOLIDWORKS PDM がインストールされていると Mastercam for SOLIDWORKS が SOLIDWORKS に読み込めません